



九中だより

令和5年11月15日

第7号

立川市立立川第九中学校 校長 敦澤 雅規

TEL042-535-1415 Fax042-534-6958

教育目標 やさしく・かしこく・たくましく

なぜ収穫祭なのか

校長 敦澤 雅規

私が九中に着任した4月早々、年間行事予定表に目を通して、一番最初に？と思ったことが、「収穫祭」という3文字でした。「何を収穫するんだろう?」。長く九中にいる先生に尋ねてみると、こう教えてもらいました。「農業の盛んなこの地域に生まれた立川第九中学校は、これまで地域の農業と共に歩いてきていて、九中で行われる農園活動や収穫祭は、総合的な学習の時間や立川市民科の授業、学校行事の中で重要なものとなっています。九中といえば農園活動、収穫祭なんです。生徒たちは生き生きと農園作業をしますよ!」



それからは、火曜日の午後の1年生との農園活動が楽しみになりました。最初は土で汚れるのは嫌だな~と言っていた1年生も、やがて土まみれが当たり前になり、男女入り混じってワイワイ話しながらの農園作業となりました。夏は水分補給をし熱中症にならないよう気を付けながらの作業でした。やがて枝豆が実り、スイカが実り、落花生が実り…。先日はこの夏の異常な暑さで成長が遅れていた大根や里芋、人参もいよいよ収穫となりました。そして、これらの採れたてで栄養たっぷりの土から育った野菜の美味しいこと!農園作業や収穫祭がどうして九中の伝統となっているのか、よくわかりました。

九中では地域の方々のご協力・ご支援をいただきながら、生徒が参加する「九中農園」を24年間にわたって実施してきました。そして今年も、農園ボランティアの方々や地域の方々のご協力により「九中農園」からたくさんの農作物を収穫することができたことをとても嬉しく思っています。

この「九中農園」「収穫祭」の活動を通して、みんなで力を合わせて働くことの大切さや収穫の大変さと喜び、地域の方々への感謝の気持ちを学んでほしいと思います。これらは、九中生にしか味わえないものです。収穫祭では、その思いを感謝の言葉で仲間やボランティア



の方々へ伝え、太鼓と卒業生の先輩がつくった九中音頭に乗せて踊ります。素敵ですね!



こんな九中ならではの伝統の「収穫祭」を誇りに感じます。ぜひこれからもずっと続けていきたい九中の特色ある教育活動です。